

## 第35回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和3年1月26日（火） 県庁4階大会議室		
委員  (委員数：5) (出席数：4)	委員長 中 出 孝 典（富山大学経済学部教授） 委員 伊 藤 始（富山県立大学工学部教授） 委員 大 石 貴 之（弁護士） 委員 前 田 陽 子（税理士）		
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和2年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和2年度上半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和2年度上半期の一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 令和2年度上半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	令和2年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：1,125件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	（事案1） 富山県防災・危機管理センター（仮称）新築
	1億円以上	1件	（事案2） 小矢部川流域下水道県単独二上浄化センター汚泥溶融炉設備修繕
	2千万円以上	3件	（事案3） 主要地方道富山立山公園線道路総合交付金（防災・地方道補修・点検）瀬戸蔵ロックシェッド補修 （事案4） 一般国道472号道路総合交付金栃折1号橋（仮称）上部工 （事案5） 山のみち交付金林道 大沢野・八尾線 茗ヶ原工区開設
指名競争入札		4件	（事案6） 神通川水系百瀬川県単独河川改良護岸工 （事案7） 一般県道大家庄東草野線外道路総合交付金（防災・防災・修繕）道路冠水情報板更新 （事案8） 一般県道堀江魚津線道路総合交付金（防災・防雪）消雪リフレッシュ （事案9） ほ場整備 出島地区 水門改修
随意契約		1件	（事案10） 小矢部川第二発電所 励磁装置等更新及び水車発電機修繕
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会としての意見	令和2年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、代表構成員の入札参加資格にある「類似工事の施工実績」の「類似工事」とは何か。</p>	<p>主要な構造が鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の建築物で、延べ面積が5,000平方メートル(事案1の工事における延べ面積の約半分に相当)以上の新築又は増改築工事とした。</p>
<p>○事案2の工事について、入札参加者が1者であるが、県外の業者は入札案件があることを知らないうちに参加しなかったのではないか。</p>	<p>県では発注見通しを四半期ごとにホームページ上で公表しているほか、業界紙においても発注機関ごとに入札案件が案内されており、入札案件については広く知り得る状況にあると考えている。</p>
<p>○事案3の工事について、変更契約が行われているが、どのような変更内容であったのか。</p>	<p>現地精査の結果、設計よりも現場のひび割れ数量が多かったため、注入材料が増となったものである。</p>
<p>○事案5の工事について、入札参加者が1者と少ないのは何故か。</p>	<p>各企業が自らの手持ち工事の状況や、地理的条件から総合的に判断して決定されたものと考えている。</p>
<p>○事案8の工事について、ルール上3回目の入札は行わないのか。</p>	<p>基本的には、2回目の入札で落札者がいない場合は不調として指名替え等を行うこととしているが、最低入札価格と予定価格の差が僅少であったことから地方自治法施行令で認められている随意契約に移行したものである。</p>
<p>○事案9の工事について、工事場所は黒部市だが指名業者は富山市や高岡市の業者が多い。黒部市やその近隣に業者がいなかったのか。</p>	<p>指名業者選定において水門・門扉工事の施工実績等を考慮した結果、工事場所である黒部市やその近隣には指名対象業者はいなかった。</p>